

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

タマ生化学株式会社 渡辺 剛

2020年明けからパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、3年の経験を経て今後共存する形での対応になる見込みです。さらに、ロシアのウクライナ侵攻から1年が経ちましたが、残念ながらこちらは収束する兆しはまだ見えてきません。ロシアのウクライナ侵攻は古くから領土の問題が根深くあるようですが、日本にも同じように国の分断が起こる可能性があります。それは第二次世界大戦の後の1951年、サンフランシスコ講和会議でのことでしたが、セイロン(現スリランカ)代表の故ジャヤワルダナ元大統領による「憎悪は憎悪によって止むことなく、愛によって止む(hatred ceases not by hatred, but by love)」という仏陀の言葉を引用した演説がきっかけと言われ、我々日本人でもこのことはあまり知られていないようです。

話がちょっとずれましたが、新型コロナ感染症や紛争などもきっかけとなり、食糧不足やエネルギー問題など、世界全体に不安が広がっています。ところで、プロテインクライシス(タンパク質供給量の不足)という言葉を知っていますか？2050年に世界の人口が100億を超えと言われる食糧不足、特にタンパク質の供給不足が懸念されています。そこで、最近では昆虫食あるいは培養肉などの開発が進められており、またフードロスも社会問題として取り上げられています。現代ではタンパク質は主に肉類からのことですが、日本で本格的に肉食文化が広がったのは江戸時代と言われています。一方、それまでは、主なたんぱく源としては魚介類と言われ、遺跡などから多くの魚の骨や漁具が見つかっています。EPAの原料でもあるイワシは、古くから日本人のたんぱく源としても食べられていました。最近では飼料や肥料などに使われているとのことですが、 ω 3脂肪酸を豊富に含み、また良質なタンパク質をも含んでいるイワシを見直してみませんか。

《幹事会のうごき》 令和5年2月17日(金)に、本年度第10回幹事会を(一財)日本水産油脂協会会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・次年度総会について、その様子をZoom配信することにした。また、総会講演会についてもZoom配信する。その他、総会講演会後の懇親会の開催について検討した。
- ・総会へのオンライン参加は欠席者が対象で、予め委任状を頂戴する。
- ・総会講演会の講師を検討した。

《2023年1月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2023年1月			2022年1月~12月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,238	312,805	252.7	15,342	6,486,575	422.8

《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2023年1月	2022年12月	2022年1月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	3,525	3,280	2,600

<情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2023年第8週	2023年第7週	2023年累計	2022年累計
チリ	30,192	30,782	251,608	195,547
ペルー	0	617	569,696	111,308